

## 重点整備地区の内、令和 5 年度に見直しを行う地区の検討について

これまでの検討により令和 4 年度については堺駅・堺東駅周辺地区について評価・見直しを行う予定としている。

現時点では、複数の重点整備地区を一括して評価・見直しをするための手法などは未確立であり、当面は個別に評価・見直しの取組を進める必要がある。ついては、令和 5 年度に見直しを行う地区について検討する。

## (1) 令和 5 年度に評価・見直しを行う必要がある地区

## ■ バリアフリー化設備の整備計画に合わせて、評価・見直しが必要な重点整備地区

地区	理由
南海高野線中百舌鳥駅・大阪メトロなかもず駅周辺地区	南海高野線中百舌鳥駅において、可動式ホーム柵の整備計画があるため。

## ■ 令和 3 年度第 1 回バリアフリー化庁内推進検討会にて意見を頂いている地区

地区	理由
南海高野線初芝駅周辺地区	令和 3 年度事業で初芝駅へ接続する都市計画道路の新家日置荘線と駅前広場整備を実施している。(道路部)
	令和 3 年度に初芝駅へ接続する都市計画道路(新家日置荘線)と西側駅前広場が整備されることにより、西側からの駅利用者の増加が見込まれる。(交通部)
南海高野線浅香山駅周辺地区	連続立体交差事業及び駅前広場の整備を実施予定(道路部)

【参考】

「バリアフリー法に基づく基本方針における次期目標について（最終とりまとめ）（令和２年 11 月）」のうち、本市の各重点整備地区の評価・見直し等に関連するもの

	項目	国の目標（おおむね 5 年間）
鉄軌道駅	段差の解消	3,000 人以上/日の施設及び基本構想の生活関連施設に位置付けられた 2,000 人以上/日の施設を原則 100%
	視覚障害者誘導用ブロック	
	案内設備	
	障害者用トイレ	
	ホームドア・可動式ホーム柵	駅やホームの構造・利用実態、駅周辺エリアの状況などを勘案し、優先度が高いホームでの整備を加速化することを目指し、全体で 3,000 番線うち、10 万人/日以上駅は 800 番線
道路	重点整備地区内の主要な生活関連経路を構成する道路	約 70%
都市公園	園路及び広場	規模の大きい概ね 2ha 以上の都市公園を約 70%
	駐車場	
	便所	
路外駐車場	特定路外駐車場	約 75%
建築物	2,000 ㎡以上の特別特定建築物	約 67% ※公立小学校等については、文科省において目標を定める。（現時点で未定）
信号機	主要な生活関連経路を構成する道路に設置されている信号機等	原則 100%
	音響機能付加信号機	主要な生活関連経路を構成する道路のうち、道路又は交通の状況に応じ必要な部分に設置されている信号機については原則 100%
	エスコートゾーン	

※目標：国が省令により定めるそれぞれの移動等円滑化基準を満たす整備が完了している割合